

# 多治見市と名工大協定

連携促進 地域活性化や産業振興

産業振興や地域活性化などを目的に、多治見市と名古屋工業大学（名古屋市中区）が二日、多治見市新町の市産業文化センターで連携協定を結んだ。

同大は、同市旭ヶ丘にセラミックス基盤工学研究センターがあり、これまで地場産業の陶磁器の技術開発に貢献。また、尾張東部と東濃西部を対

象にした「産官学ものづくりネットワーク」など

には高度な知識が求められ、大学は社会貢献が大きなテーマとなる中、これらを踏まえ、連携をさらに促進しようと協定を結んだ。

▽地域活性化やまちづくり▽自然保護▽地域情報化など幅広い分野の課題について取り組

む。

締結式に臨んだ西寺雅也市長は「この地域の活性化や環境整備でお世話になっていきたい」、松井信行学長は「市と大学との関係はすでに歴史と実績があり、いい地域の実現につなげていきたい」と述べた。

（内田 由紀子）



連携協定を締結した西寺多治見市長（左）と松井名工大で

平成18年2月3日(金)  
中日新聞22面(東濃)